

未来に向かって
夢をもち続ける子ども

小野小学校だより

2025年1月8日 No. 12



Ono Elementary School

本年もよろしくお願ひいたします

2025 年が始まり、子どもたちが学校に戻ってきました。2 学期の終業式で、話していたとおり「おはようございます」「よろしくお願ひします」「あけおめ」と元気にあいさつする子どもがたくさんいました。嬉しかったです。

さて、巳年は穏やかにスタートしたように思います。昨年は、1 月 1 日に石川県能登地方を震源とする大きな地震があり驚きと心配から新年が始まりました。石川県では、9 月に豪雨災害もあり、度重なる自然災害によってつらい状況に遭われた方々が多くいらっしゃいました。

近年、甚大な自然災害が毎年のように日本各地で発生しています。「天災は忘れた頃にやってくる」のではなく、「忘れる前に」、「次々と」発生するようになっていきます。いつ自分の生活する地域で自然災害が発生してもおかしくはありません。日頃から万が一の状況を想定して準備しておくこと、心の準備として安全・防災について学ぶことが大切になっていきます。

昨年の夏には、パリオリンピック・パラリンピックが開催され、日本人選手が大活躍し話題となりました。日本代表だけではなく各国のトップアスリートが全力で挑む姿は、見る者の心を揺さぶりました。選手たちの試合での活躍、そして試合後の振る舞いやコメントは、目標をもち、全力で取り組むこと、対戦相手に、そして、支えてくれた方々に敬意を払うこと、ルールを尊重することなど多くの学ぶべきことを伝えていました。オリンピックのような体験は難しいでしょうが、自分自身の限界に挑む、可能な限りベストを尽くそうと努力する機会や、本物に触れ、体全体で、実際にやってみるなどする機会を工夫してつくり、子どもたちに感じさせ、体験的に学ばせることで、心も体も育みたいと思います。



昨今は、学校で行う様々な調査が WEB 上で行われるようになっていきます。学力調査もタブレットなどで実施する準備が進んでいます。1 人 1 台端末を活用する力は、生まれながらにしてデジタルに囲まれて育ってきた子どもたちにとって、必要な力の一つとなっています。それと同時に、ある程度まとまった量の文を読む、書く力も着実に身に付けさせていくことが大切です。読書の推進や新聞の活用も含め、教科の学習の中でできること、教科外の活動としてできることを工夫していきたいと思っています。

巳年は新しい挑戦や変化に対して前向きな姿勢を示す年ともいわれています。子どもたちが、これまで以上に前向きさを発揮し、様々なことに取り組んで、自分の力としていくことができるよう全職員で支えていきたいと思っています。

本年もよろしくお願ひいたします。

